

令和 7 事業年度

決 算 報 告 書

第 2 2 期事業年度

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 3 1 日

国立大学法人長崎大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,441	20,080	2,639	(注1)
施設整備費補助金	694	717	23	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	4,134	6,710	2,576	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
自己収入	39,860	42,407	2,547	
授業料、入学料及び検定料収入	5,025	4,249	-776	(注3)
附属病院収入	34,257	37,303	3,046	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	578	855	277	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,117	10,415	2,298	(注6)
引当金取崩	964	1,022	58	(注7)
長期借入金収入	120	49	-71	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	863	821	-42	
引当特定資産取崩	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成	-	-	-	
大学運営基金取崩	-	-	-	
計	72,193	82,221	10,028	
支出				
業務費	57,164	58,526	1,362	
教育研究経費	22,386	21,613	-773	(注9)
診療経費	34,778	36,913	2,135	(注10)
施設整備費	814	766	-48	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	3,787	3,772	-15	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,117	7,382	-735	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,311	2,328	17	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	-	-	-	
計	72,193	72,774	581	
収入－支出	-	9,447	9,447	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった特殊要因経費及び基幹経費の追加交付があったこと並びに前年度からの繰越額が見込額より多額となったことにより、予算金額に比して決算金額が2,639百万円多額となっております。

(注2)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった革新的研究開発推進基金補助金等の交付があったこと等により、予算金額に比して決算金額が2,576百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金1,073百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注3)授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階の見込に比して授業料等免除(新制度・独自制度)における適格者が多数であったことによる授業料・入学料収入の減等により、予算金額に比して決算金額が776百万円少額となっております。

(注4)附属病院収入については、高額注射薬の増加等に伴い、入院・外来診療単価が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が3,046百万円多額となっております。

(注5)雑収入については、受取利息及び船舶保険金の増等により、予算金額に比して決算金額が277百万円多額となっております。

(注6)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が2,298百万円多額となっております。

(注7)引当金取崩については、賞与引当金対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が58百万円多額となっております。

(注8)長期借入金収入については、(医病)ライフライン再生(防災設備等)工事の事業計画変更により、予算金額に比して決算金額が71百万円少額となっております。

(注9)教育研究経費については、業務達成基準を適用した学内プロジェクトやミッション実現加速化経費事業による翌期繰越及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が773百万円少額となっております。

(注10)診療経費については、高額注射薬の使用件数の増加による医薬品費の増加等により、予算金額に比して決算金額が2,135百万円多額となっております。

(注11)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等の翌期繰越の増加により、予算金額に比して決算金額が735百万円少額となっております。